

国際政治 III 試験問題

出題：阪口 功

【注意】

1. 授業配付資料、手書きノートのみ持ち込み可
2. それ以外のものを持ち込んだ場合は、試験における不正行為に該当
3. 解答はすべて別途配布される解答用紙に記入すること。
4. 解答する際、問題の番号を必ず冒頭に明記すること。(例) A- (1)、B- (1) など。

A 以下の (1) から (5) の設問から 4 つ選び、解答しなさい。万一、全問解答した場合は、解答順で最初の 4 問のみ採点する。
(合計 40 点)

- (1) 以下の選択肢の財で、国際的な純粋公共財、クラブ財、共有資源に当てはまるものをそれぞれ選び、アからウに分類しなさい。なお、1 ついずれにも該当しない財が選択肢に含まれているので、それは選ばないように。

ア) 純粋公共財：_____

イ) クラブ財：_____

ウ) 共有資源：_____

- ① 自由貿易 ② 集団的自衛 ③ 世界平和 ④ 太平洋クロマグロ
⑤ 天然痘の撲滅 ⑥ 熱帯雨林

- (2) 規範は間主観的な概念であると言われているが、その意味するところを具体的にわかりやすく説明しなさい。
- (3) 覇権安定理論では、なぜ世界に他を圧倒する覇権国が成立すると国際秩序は安定するとされるのか、またなぜ覇権国は必ず衰退するとされるのか、簡潔に説明しなさい。
- (4) 複合的相互依存状況におけるパワー関係について簡潔に説明しなさい。
- (5) 以下の写真は、米系航空のトイレに置かれていたトイレットペーパー（左）とヨーロッパのスーパーの冷凍食品売り場に置かれていた冷凍食品（右）である。日本の航空会社やスーパーで一般的に置かれているものにはない社会的特徴を持っている。両製品の社会的特徴について簡潔に説明しなさい。



B 以下の問題から 1 問選び、講義をふまえた上で、1000 字程度（上限なし）で解答しなさい。（1 問×60 点）

- (1) 世界をより平和にするにはどのような処方箋が考えられるか、多角的また現実的に論じなさい。
- (2) ネオリベラリズムとネオリアリズムの論争を、ゲーム論を用いてまとめ、国際社会における協力の可能性について論じなさい。
- (3) プライベート・ソーシャル・レジームがグローバルガバナンスにおいて果たす役割と限界について論じなさい。
- (4) 国際規範の形成・浸透が世界政治に与える影響について論じなさい。

C ボーナスクイズ

任意ですが、A と B を回答し終えた学生は、以下のボーナスクイズから 2 つ選択し解いて下さい。

- (ア) ある人が「日本人」であることを証明する方法について説明しなさい。
- (イ) 国際政治学と物理学、化学などの理系の学問との根本的な違いを説明しなさい。
- (ウ) 学習院およびその周辺で発生している囚人のジレンマまたは調整ゲームの構造を持つ問題を 1 つ取り上げ、その問題が解決されているなら、どのようにして解決されているのか、解決していないならば、解決する方法について提案しなさい。ただし、法や強制力による解決は対象外とする。